

第 29 回京都図書館大会

ウィズコロナ時代の図書館

令和 2 年 11 月 30 日 (月) 13:00 ~17:00

実施方法：Zoom（ウェビナー形式）によるオンライン開催

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、多くの図書館が臨時休館し、その後、感染対策を行いながら再開しています。今大会では、これからの図書館員がどのように情報を収集・提供すればよいか、図書館サービスをどうしていくべきかについて考えます。



基調講演

「ウィズコロナ時代の、信頼できる 医療情報の見分け方」 北澤 京子氏

（京都薬科大学客員教授、医療ジャーナリスト）
京都大学理学部卒。1994～2014 年日経 BP 社勤務、現在フリー。著書に、『患者のための医療情報収集ガイド』（ちくま新書）等、訳書に『病気の「数字」のウソを見抜く』（日経 BP 社）、『過剰診断』（筑摩書房）。



事例発表 1

「ウェブでつながるコミュニティ – 動き続ける図書館をめざして –」 朝倉 久美氏（県立長野図書館 司書）



事例発表 2

「どんな時にも図書館サービスを継続するためのデジタル技術」 吉本 龍司氏（株式会社カーリル 代表取締役/エンジニア）



事例発表 3

「ウィズコロナ時代の図書館が持つべき『しなやかな強さ』とは」 岡本 真氏（アカデミック・リソース・ガイド株式会社(arg) 代表取締役/プロデューサー）

【主催】 京都図書館大会実行委員会

【後援】 京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都府市町村教育委員会連合会

【協力】 京都府図書館等連絡協議会、京都府学校図書館協議会、公益社団法人日本図書館協会、同志社大学
図書館情報学研究室

館種を越えた図書館関係者の連携を図り、研鑽を積むことを目的とし、京都図書館大会を開催します。

大会日程

開会行事 13:00～13:05

基調講演 13:05～14:05

「ウィズコロナ時代の、信頼できる医療情報の見分け方」

北澤 京子 氏（京都薬科大学客員教授、医療ジャーナリスト）

事例発表 14:15～16:25

「ウェブでつながるコミュニティー動き続ける図書館をめざしてー」

朝倉 久美 氏（県立長野図書館 司書）

「どんな時にも図書館サービスを継続するためのデジタル技術」

吉本 龍司 氏（株式会社カーリル 代表取締役/エンジニア）

「ウィズコロナ時代の図書館が持つべき『しなやかな強さ』とは」

岡本 真 氏（アカデミック・リソース・ガイド株式会社(arg) 代表取締役/プロデューサー）

質疑応答 16:35～17:00

【参加対象】

公共図書館、大学図書館、学校図書館及び専門図書館の職員、学校教職員、日本図書館協会会員、図書館の利用者及び利用団体等

【参加費】 無料

【申込方法】

令和2年11月20日（金）までに、

次の URL にアクセスし、お申込みフォームよりご登録ください。

第 29 回京都図書館大会ウェブサイト：https://www.library.pref.kyoto.jp/?page_id=23868

折り返しのメールで、通信および当日の Zoom にアクセスする URL をお送りします。

終了後、録画映像の URL を送付します。申込者は一定期間視聴できます。

【参加方法】

接続予定の端末（PC、タブレット、スマートフォン等）に、Zoom アプリケーションを予めインストールしておいてください。

当日は、事務局からメールでお知らせする URL（または ID/パスワード）からアクセスし、お名前とメールアドレスを入力してお入りください。なお、Zoom ウェビナーでは、参加者側の機器にカメラやマイクは必要ありません。また、接続中に参加者側の映像が表示されることはありません。

【接続テスト】

令和2年11月25日（水）14:00～15:00（予定）

接続テストへの参加は任意です。新たな申し込みの必要はありません。

本番と同様の設備を用いて、使用機器の調整、通信テストを行いますので、当日の接続環境の確認等にお使いください。

当日は、事務局からメールでお知らせする URL（または ID/パスワード）からアクセスし、お名前とメールアドレスを入力してお入りください。なお、Zoom ウェビナーでは、参加者側の機器にカメラやマイクは必要ありません。また、接続中に参加者側の映像が表示されることはありません。

【問合せ先】

京都図書館大会実行委員会事務局

〒606-8343 京都市左京区岡崎成勝寺町 京都府立図書館内

電話：075-762-4655 / FAX：075-762-4653 / E-mail：tosyokan-service@pref.kyoto.lg.jp